

9 農業支援サービス事業育成対策

【令和4年度予算概算決定額 100（95）百万円】

＜対策のポイント＞
農業現場の課題に対応しつつ、**農業支援サービス事業体の新規参入**、既存事業者による**新たなサービス事業の育成・普及**を加速化するため、**新規事業の立上げ当初のビジネス確立**等を支援します。

＜事業目標＞
農業支援サービスの利用を希望する農業の担い手の8割以上が実際に利用〔令和7年まで〕

＜事業の内容＞

サービス利用の伸び率を大幅に引き上げるため、新規事業立上げ当初の**ニーズ確保**や**人材育成**に要する以下の取組を支援します（上限1,500万円）。

- ・ビジネス確立のための**ニーズ調査**
- ・デモ実演等に必要な**機械・システムの改修**や**データ収集**
- ・農業支援サービス事業体が行う**人材育成（研修費等）** 等

加えて、農業現場が直面している各課題に対応した以下の**農業支援サービス事業体**へも支援します。

- 1. **輸出等超低コスト型**
海外現地が求める価格ニーズに対応した農産物生産等のため、超低コスト生産に資するサービス事業体を育成
- 2. **みどり戦略型**
生産力向上と持続性の両立の実現に資するサービス事業体を育成
- 3. **高収益作物転換型**
主食用米から高収益作物への転換に資するサービス事業体を育成

（関連事業）
強い農業づくり総合支援交付金のうち農業支援サービス事業支援タイプ
12,566（14,164）百万円の内数
農業支援サービス事業の新規事業立上げに必要な、農薬散布用のドローン等、**農業用機械等のリース導入・取得**等を支援します。

＜事業の流れ＞



＜事業イメージ＞

課題

・ 農業現場の厳しい人手不足
（特にピーク時の臨時雇用）

課題

・ 収量・品質の低下
・ スマート農機導入コスト

農業支援サービス事業体

作業期に応じた人材派遣

ドローン防除等の作業受託

データ分析/農機のシェアリング

【事業体の育成・普及上の課題例】

- 繁閑が明確なため、同一産地・品目では**通年でニーズ確保が困難**。また、複数産地・品目に対応する場合は**高度な人材の育成**が必要
- 一つの作業失敗が収量・品質に大きな影響を及ぼすため、**農家との信頼関係の構築**に時間や労力を要する

本対策で、

- ・ ニーズ調査や**人材育成**
- ・ デモ実演に必要な**機械・システムの改修**
- などの**ソフト経費を支援**

- 海外現地が求める価格帯に応えるなどの**超低コスト生産**
- 主食用米から高収益作物へ転換するための**環境整備**
- 環境負荷軽減と生産性向上が両立する**生産システムの実現**

【お問い合わせ先】 農産局技術普及課（03-6744-2111）